

報道関係者各位

\*\*\*\*\*

**株式会社小泉グループのいずみテクノス株式会社が新工法  
「モバイル・ハイブリッド工法II」でマンションの排水管更生事業を拡大。  
~形状記憶型の塩ビ管を排水管内部に密着させる技術を積水化学工業と共同開発~**

\*\*\*\*\*

住宅設備機器の総合商社株式会社小泉(東京都杉並区/長坂紘司社長/電話03-3393-2511)グループ傘下の設備工事会社・いずみテクノス株式会社は、新工法「モバイル・ハイブリッド工法II」(以下、M・H工法II)により、ビル・マンション等の排水管更生事業の拡大を図ります。M・H工法IIでは排水管でもっとも改修が難しいとされる共用横主管の更生技術に、積水化学工業株式会社と共同開発した新技術『リノベライナー工法』を採用しました。これにより品質向上と経済性(更新工事のほぼ50%)を武器に、受注拡大を狙います。

**モバイル・ハイブリッド工法II (M・H工法II)とは**

小泉グループ傘下のいずみテクノスが積水化学工業株式会社と共同開発した「リノベライナー工法」を中心に従来工法の「吸引工法」「吸引ピグ工法」を組み合わせた新しい排水管更生工法です。

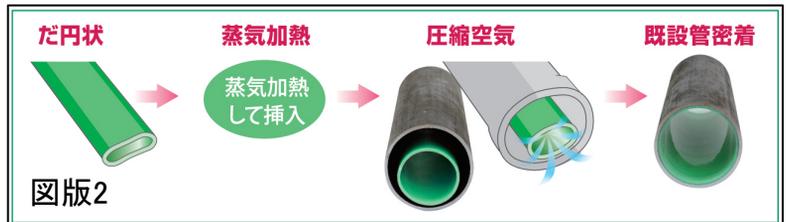
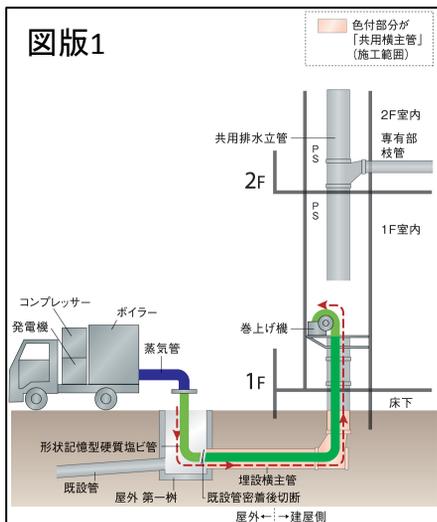
**モバイル・ハイブリッド工法IIの構成**



(本工法のポイント)  
横主管部は清掃後「形状記憶塩ビ管」を挿入して既設管内部に密着させます。これにより新品とほぼ同様の排水機能を発揮させることができます。

**■コア技術である「リノベライナー工法」について**

【概要】 建物中のすべての排水が集中しもっとも傷みやすい「共用横主管」(図版1参照)。ここにだ円状に折りたたんだ形状記憶性を持つ硬質塩化ビニル管を挿入し、蒸気と圧縮空気ですべての管に復元、管内に密着させます。(図版2参照)



## ■コア技術である「リノベライナー工法」について(続き)

### 【他工法との違い】

地面を掘り返して横主管を取り替える、または横主管内部の塗料を塗り直す従来工法に比べ、既存管内部に新しい管を形成する点が大きく異なります。

### 【メリット】

埋設部分を掘り返す開削工事が不要なので、開削する場合に比べて環境に優しく工期も大幅に短縮でき、費用の節減も可能となります。

横主管内部に新しく塩ビ管を通すため、塗料を塗り直す場合に比べてむらや塗り残しがありません。

### 【開発経緯】

リノベライナー工法は、公共インフラ分野の各種工法の開発で高い実績を持つ積水化学工業株式会社と、マンションの給・排水管改修に豊富な経験を持つ当社が共同開発しました。

## ■「吸引工法」と「吸引ピグ工法」について

### 「吸引工法」

マンションの専有部分にある比較的細い排水管は吸引工法で施工します。

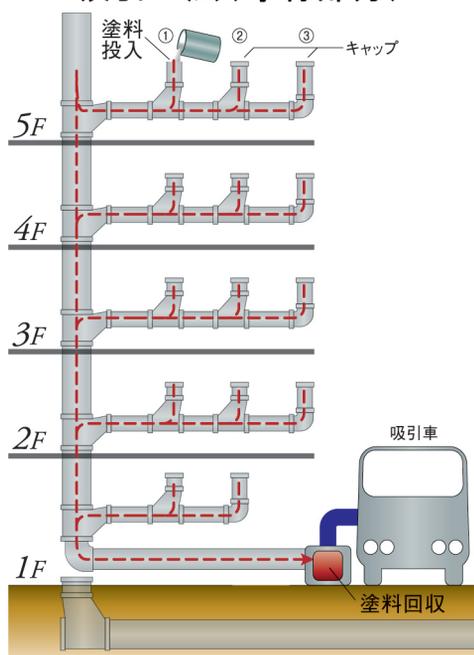
研磨剤による研磨、清掃後、吸引気流できめ細かくライニング※。を行います。

※ライニング:管の内側を耐久性のある樹脂などでコーティングすること。

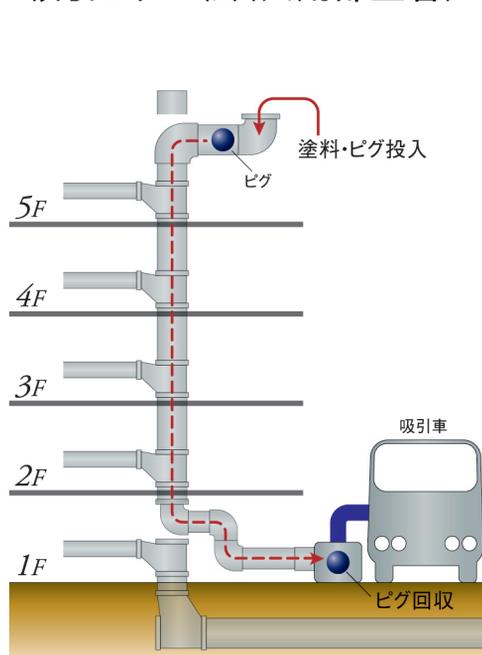
### 「吸引ピグ工法」

共用部立管にはその施工に最も適した吸引ピグ工法を用います。高圧ジェット洗浄と研磨剤の吸引により付着物を除去した後、最上階より塗料を吸引させた後にボール状の器具(ピグ)を使ってライニングします。

吸引工法(専有部分)



吸引ピグ工法(共用部立管)



## ■モバイル・ハイブリッド工法Ⅱとモバイル・ハイブリッド工法の違い

モバイル・ハイブリッド工法Ⅱでは、専有部を「吸引工法」、共用部立管を「吸引ピグ工法」で施工する点を、前身である「モバイル・ハイブリッド工法」から引き継いでいます。

共用横主管の施工品質と費用節減を担保すべく、「リノベライナー工法」を採用し、さらに進化したのが「モバイル・ハイブリッド工法Ⅱ」です。

### 小泉グループといずみテクノス株式会社について

小泉グループは「株式会社小泉」を中心とした「住宅設備」「配管部材」「建材」「電設資材」を4つの柱に、豊かな生活環境の創造に貢献する住宅設備機器の総合商社です。

グループは株式会社「小泉」の他、子会社9社と関連会社6社で構成されています。

\*\*\*\*\*  
株式会社小泉の会社概要

会社名 株式会社 小泉 <http://www.koizumig.co.jp/>

代表者 長坂 紘司 本社所在地 東京都杉並区荻窪4-32-5 電話03-3393-2511

従業員数 2,019名 設立昭和22年4月18日 資本金29億3113万円(関連会社・海外現法を含む)

年商 1,422億円  
\*\*\*\*\*

いずみテクノス株式会社は設備工事において小泉グループの一翼を担う関連会社です。

ビル、マンションの空調設備、給・排水設備、防災設備などの設計施工から、給・排水管更生工事、増圧直結給水工事などの分野において優れた独自技術を提供してきました。

特に給水管更生工事では、「モバイル・リボン」工法を独自開発し業界トップクラスの施工実績を持ちます。今回排水管更生分野をさらに充実させる「リノベライナー工法」を開発したことで、給水・排水両面でマンション管理組合および管理会社のニーズに応える体制が整いました。

\*\*\*\*\*  
いずみテクノス株式会社の会社概要

会社名:いずみテクノス株式会社 <http://www.izumitechnos.co.jp/>

代表者:中間太麓 本社所在地:東京都杉並区上荻2-19-7 電話:03-5335-7601

従業員数:40名 設立:昭和55年1月18日 資本金:5,000万円

年商:25億円  
\*\*\*\*\*

【本リリースに関するお問い合わせ先】

いずみテクノス株式会社／中間・岩波・村上・門田

電話:03-5335-7601 FAX:03-5335-7611